

2022年(令和4年)
6月11日 土曜日
第1884号

京都自動車新聞



京ト協 7~9月期の会費免除
整備士制度 2027年から改定
京自販 臨時総会と代表者会議開く
ロータスが個人リース増販へ
◀ 電装品商組 新理事長に杉江氏

2
5
6
7
7

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidisha-np.jp

外国人技能実習制度に迫る④

特定技能に続き技能実習生も

光自動車工業(中京区、中井一雄社長)が、3月から6月にかけて、自動車整備カテゴリーでは全国的にもあまり例がないパターンで2人の外国人メカニックを採用した。すでに来日経験のある特定技能外国人を先行して雇用し、その上で新たに入学してきた外国人技能実習生を受け入れるというのだ。同社には、異業種出身のスタッフが数多くそろい、バラエティーに富んだ個々の経歴が同社のカラーを一層際立たせている。こうした多様性に今年また新たな要素が加わった格好。

光自動車工業(中京区)

特定技能制度を活用 秀でているため、来店対応も任せられる「最高レベルの人材」(監理団体の担当者)だとう。同社が外国人メカニックを起用するきっかけとなったのは、「京都府自動車整備振興会」の幾つかの縁(中井社長。同社は2年前、整備士の社会的地位の向上につなげようと、京都産業大と共に自動車整備を題材とした幼児向け絵本を制作。京京振もカンボジアから

人材を日本へ送り出す事業を通じ、国内の整備需要をまかなうための基礎づくりを進めていた。こうした中で、整備士の在り方を模索する両者に協働関係が芽生えたというわけだ。そもそも、「外国人雇用を具体的に想定していなかった」(同)

引き続き組合活性化へ

京車協総会 溶接題材に講習も

京都府自動車車体整備協同組合(内山和則理事長)は5月24日、伏見区の京都自動車会館で第57回通常総会を開催。一組回通常総会を開催、一組回事業の活性化と組合員増強の推進」を新年度の最重要事項として引き続き採択した。

組合は昨年度、各地域の活性化を組合組織の原動力に結び付けるための地区部会を重点活動として企画するも、新型コロナウイルス

ナウイルスの感染防止の観点から中止。自動車車体整備士技術講習や、見積もり研修会は万全のコロナ対策を施し、開催にこぎ着けた。

一方で、特殊健康診断、塗装ブースの作業環境測定といったコンプライアンス関連事業も実施し、労働安全衛生面で組合員を厚くサポートした。

「人材育成」環境への対応」を活動の3本柱としたい意向。「先進安全自動車対応優良車体整備事

整備士課程の試験前講習を受講した際の講師が、整備商工組合の外国人監理事業の担当者だったという「縁」が重なり、おのずと親近感が湧いた。一方、今月同じくカンボジア籍のコン・ピャクダイさん(22)が実習生として配属された。日本語の理解度にはまだ余地を



(左から) 指導係の辻泰弘主任、ピャクダイさん、中井社長、チャイヤさん、指導係の上野宏樹主任

を残しつつも、バイタリティーあふれる若者だ。現在は、チャイヤさんの指導のもと、日本語や料理、集合住宅のルールなども学んでいるそう。チャイヤさんは、カンボジアで整備工場を立ち上げたいという気概が入倍強い。だからこそ勉強に對しても熱心で「光自工ではいろいろな種類の整備を体験でき、内容が濃い毎日を通じている」と充実感を語る。ピ

業者」の認定につながる「高度化車体整備技能講習」では、超高張力鋼板の溶接作業を題材として取り扱う。予算は1651万円あり。受賞者の栄誉をたたえる 京車協は同日、日本自動車車体整備協同組合連合会会長表彰伝達式と京車協理事長表彰式を開き、受賞者の栄誉をたたえた。受賞者は次の通り(敬称略)。

▽京車協優良従業員理事表彰 II 灰方俊彦、真下和(以上、ZI PAN WORKS)、浅田安彦(彌栄自動車 自動車サービセンター)

永年勤続) II 大橋浩二(ポデーション・ショップ大橋) 中井社長は近い将来、会社の全面バックアップのもと、チャイヤさんに三級整備士を取得させる意向。さらに、日本の運転免許証への切り替え手続きに合格した際には、納車や出張点検なども任せたいと考えた。ピャクダイさんが現在のチャイヤさんの持ち場がある程度フォローできるようにすれば、チャイヤさんには重整備も担当させるほか、組織運営や工場経営に至るまで広く学んでも

約100社がブース出展
大黒商会 オートビジネスフェア

開催時間は18日(12時~18時)、19日(9時30分~16時まで)。

イリング(コーティンクや車内リペア)、プラグの整備を提案する提案整備機器、特定整備機器の特設コーナーを設置。セミナーでは、今後始まる新制度や自動車業界を取り巻く環境、洗車にスポットを当てた繁盛店の成功例などを紹介する。

ピャクダイさんは「やっと日本にいられてうれしい。今はタイの点検やジャッキアップなどを先輩に教わりながら頑張っている」と喜びをにじませる。2人の加入で中井社長は「スタッフみんなの優しさに改めて触れた」と目を細める。

中井社長は近い将来、会社の全面バックアップのもと、チャイヤさんに三級整備士を取得させる意向。さらに、日本の運転免許証への切り替え手続きに合格した際には、納車や出張点検なども任せたいと考えた。ピャクダイさんが現在のチャイヤさんの持ち場がある程度フォローできるようにすれば、チャイヤさんには重整備も担当させるほか、組織運営や工場経営に至るまで広く学んでも

オートビジネスフェア KYOTO 2022

カーアフターマーケットの未来提案 変化する時代を切り開こう!

2022 6/18 SAT 12:00~18:00 6/19 SUN 9:30~16:00

京都パルスプラザ(京都市伏見区竹田鳥羽殿町5) 一大会場

出品目: 特定整備(エーミング・スキャンツール) 関連機器、車検機器、ガレージ機器、ハンドツール、カーディテイルングサービス、自整備システム、補修部品、各種ケミカル